

日本地震工学会・地震学会共催  
昭和南海地震70周年シンポジウム

日時：2016年9月27日 15:00-18:00

場所：高知工科大学永国寺キャンパス A104教室 (220名)

「昭和南海地震70年シンポジウム-来たるべき南海トラフ地震への備えを考える」  
主催：公益社団法人日本地震工学会、公益社団法人日本地震学会

**14:30-15:00** 受付

司会：高知工科大学教授 甲斐芳郎 (日本地震工学会)

**15:00-15:05** 趣旨説明：地震工学会会長 目黒公郎

**15:05-16:35** 講演会 (各30分、質疑なし)

古村孝志 地震学会副会長 (**15:05-15:35**)

「見えてきた、南海トラフ巨大地震の姿」

目黒公郎 地震工学会会長 (**15:35-16:05**)

「最近の地震災害から学ぶ教訓と今後の我が国の防災対策のあり方」

磯部雅彦 高知工科大学長 (**16:05-16:35**)

「津波防災対策のあり方と高知県の取り組み」

**16:35-16:55** 休憩

(地震工学会大会 優秀発表賞 表彰式)

**16:55-17:55** パネルディスカッション

「来たるべき南海トラフの地震に向けた課題」

モデレータ：目黒公郎

パネリスト：

古村孝志 (東京大学教授)、磯部雅彦 (高知工科大学長)、目黒公郎 (東京大学教授)

岡村眞 (高知大学特任教授)、堀田幸雄 (高知県危機管理部副部長)

**16:55-17:00** 趣旨説明、パネリスト紹介

**17:00-17:10**：話題提供 岡村眞 特任教授

「南海トラフ巨大地震津波の歴史 -沿岸湖沼の記録を読む-

**17:10-17:50**

- 1) 事前対策を進める上でのポイント (**17:10-17:20**)
- 2) 災害の直後対応に関するポイント (**17:20-17:30**)
- 3) 復旧・復興活動におけるポイント (**17:30-17:40**)
- 4) 全体のまとめ (**17:40-17:50**)

**17:55-18:00** 閉会挨拶：東京大学教授 古村孝志 (日本地震学会)